

認知症ってどんな病気？

認知症は、なんらかの原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることで、これまで培ってきた記憶や考えるなどの認知機能が低下し、日常生活を送るうえで支障が出てくる状態のことをいいます。

①どんな症状がでるの？

認知症は、原因になる病気や、脳の障害を受ける部位によって一人ひとり現れる症状が違います。脳の混乱が原因でおこる症状で、わざと相手を困らせようとして起こす行動ではありません。

一般的にはもの忘れのイメージが強いですが、もの忘れは目立たず、^{げんし}幻視（見えないはずのものが見える）や性格の変化などの症状が現れる認知症もあります。

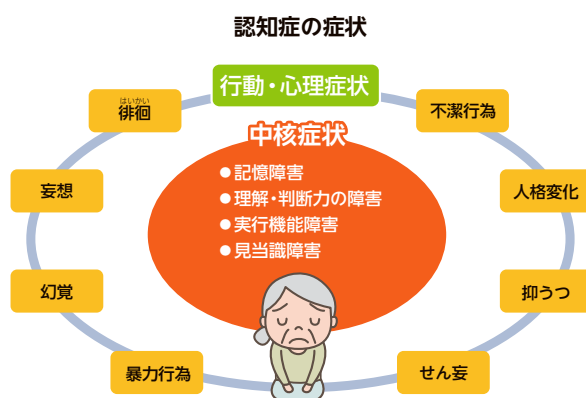
③早期発見・早期対応が重要

一部の病気を除き、認知症を治療することはできません。しかし服薬するなどの早期対応をすることで、認知症の進行を緩やかにできます。

自分の能力が長期間保たれているほど、認知症のかたの不安感を軽減できます。また、家族の負担も軽減できます。

②認知症のかたの思い

認知症のかたは、誰よりも早く自分に認知症があることを感じ始めます。「自分が認知症のはずがない」「人に知られるのが恥ずかしい」などの理由で周りのかたに助けを求められず、大きな不安を感じている場合があります。



認知症のかたやその家族を支援する事業を紹介します

1. 認知症初期集中支援チーム

認知症を早期発見し早期対応するため、認知症の知識を持つ医師・医療職・介護職からなるチーム員が対応しています。

●チームの対象者は？

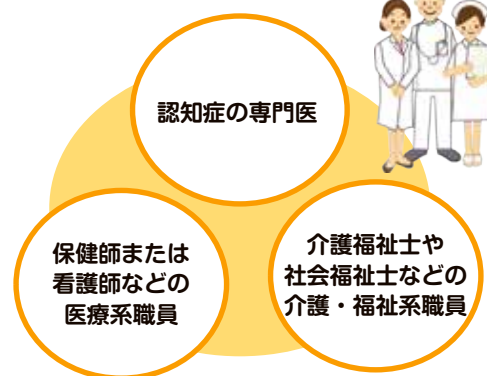
認知症状が心配されるかたや、認知症状があり対応が難しいかたが対象です。

●チームの活動内容

対象者とその家族などからの聞き取りをした上で、チームで会議を行い支援の方針を決定します。

支援期間は最長6か月間で、対象者が医療や介護サービスへつながることを目標に支援します。

認知症初期集中支援チーム (オレンジチーム)



3人1チームで支援します

2. 認知症のかたを見守る

～認知症サポーター養成講座～

認知症は誰でも発症する可能性があります。認知症の症状を悪化させないためには、周りのかたが認知症の症状や薬、認知症のかたへの接し方などの正しい知識を持ち、温かく支援することが大切です。

認知症になっても誰もが住みやすい地域となるよう、ぜひ認知症について知る機会をもってみませんか。

3. 最後に

周りのかたに認知症状が見られ、対応に困っている場合は抱え込まずに相談することが大切です。今回掲載の事業の問い合わせ・申し込みは地域包括支援センターへ連絡してください。

○地域包括支援センター ☎ ㉓ 1182

○松阪厚生病院 認知症疾患センター

☎ 0598 ㉓ 4522

○三重県認知症コールセンター

☎ 059-235-4165

9月は世界アルツハイマー月間です
認知症とともに生きるために

健康福祉課地域包括支援センター ☎ ㉓ 1182